

# 奄美医療生協NEWS

## お元気ですか

発行者  
奄美医療生活協同組合  
鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7  
電話0997-52-0585  
FAX 0997-52-8881

今、全国で、医療・介護事業が深刻な経営危機に陥っています。医療・介護の収益源は、診療報酬

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に定めました。

2012年以来2回目



2025年は国際協同年の年になります。国際協同年とは、国連総会で決議され、協同組合の取り組みをさらに広げ進めるため、また、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高めるために、国連、各国政府、協同組合が、この機会を活用することを求めています。

### 2025年度組合員活動方針(骨子) 組合員参加を豊かにし、多様な参加と協同で 経営・事業の改善と組合員活動を前進させよう

- 2面 ・組合員活動紹介
- 3面 ・2024年度役員・事業所管理者・支部役員会議  
・よりよーり
- 4面 ・「職業人座談会」  
・奨学金制度案内
- 5面 ・徳之島診療所  
新築移転関係  
・2024年度  
しめくり月間  
方針(1次案)
- 6面 ・読者だより  
・理事会だより  
・ゆいちゃんがい

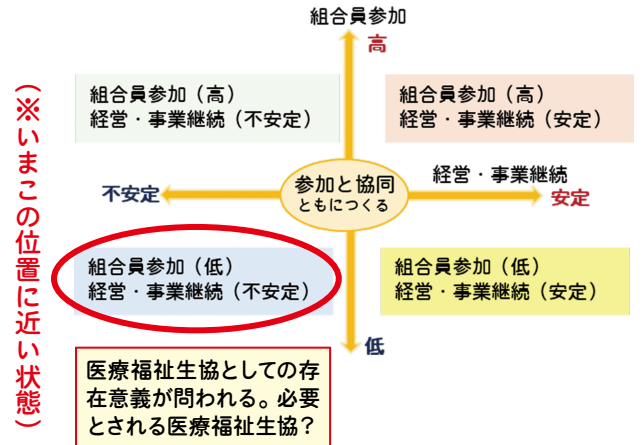
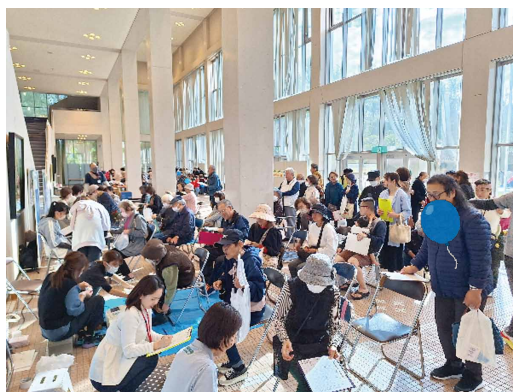
活動へ「ともにつくる事業」と課題への位置づけが提起されています。

私たちは、国際協同年にふさわしい協同と連携でこの困難を乗り越え「誰一人取り残されない、平和で公正で持続可能な社会づくり」に取り組んでいきます。

もう一つの困難は、医療福祉生協の組織活動への組合員参加の減少です。昨年「組合員参加のあり方提言」が出され、活動参加を豊かに広げていこうと創意工夫の下、取り組みがすすめられています。2025年の組合員活動方針(骨子)にも、新たに、あらゆる

活動へ「ともにつくる事業」と課題への位置づけが提起されています。私たちが、国際協同年にふさわしい協同と連携でこの困難を乗り越え「誰一人取り残されない、平和で公正で持続可能な社会づくり」に取り組んでいきます。

「全体を事業ととらえて『一体的に』マネジメントする」まさに、わたしたちの「いのちの章典」の実践です。その中の「参加と協同」をいかに組合員とともに取り



(※いまこの位置に近い状態)

組めるかが重要です。今、奄美医療生協も「事業」回復のために、現状を受け止め、位置づけを熟考する必要があります。医療・介護・福祉の事業だけでなく、生協法に規定されている、**組合員及び組合員事業に関する知識の向上を図る事業(第十条第1項の(5))**

困難を乗り越えるには、活動と人づくりは不可欠とし、医療福祉生協の人づくりを踏まえ、多世代を意識した「ゆるやかな繋がりづくり」「地域での健康づくりに医療福祉生協の優位点を活かそう」「助け合い活動は、地域の課題を協同で解決する取り組みにつなげよう」これを重点課題として「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくり」の実現、地域で必要とされる奄美医療生協の事業に取り組んでいきます。

(具体的な数値目標は次号で)



北大島区 たまり場班

研修医による医療講演会開催！  
高血圧のメカニズムと  
予防について



1月24日(金)、支部合同の『たまり場班』にて、奄美中央病院に研修に来ている黒木研吾医師の医療講演会を組合

員4名、職員5名の参加で開催しました。  
講演は、『高血圧について』をテーマに、前半は「そもそも高血圧とは」や血圧のメカニズム等について学び、後半は「高血圧を予防するためにはどうしたら良いか？」を具体的に説明して下さいました。  
講演後、参加者から、「下の血圧が高い方が危ないと聞かすが、な

ぜか？」や「物の本に、『サウナは血管の筋トレ』と書いてあったが、サウナで血管を鍛えれば、血圧が下がるのか？」等質問が相次ぎましたが、黒木先生の丁寧な説明に皆さん納得されたようです。  
雨の降る寒い1日、短い時間での交流となりましたが、次回は、ぜひ暖かい季節に奄美大島を満喫しに来て下さい!!

地域支援部 石井 仁久

医師へ、分からないこと、聞きたかったことが直接聞けるのが医療生協の医療講演です。どなたでも参加できます。



南大島区 味彩班

しみる  
ポリウムたっぷりお雑煮  
具たくさん筑前煮に大満足

1月23日(木)に、「味彩班」を開催しました。普段は、お菓子や軽食を作って楽しんでいる班ですが、今回は年明け初の開催という

徳之島以南区 天城支部

2030年ビジョン街並みチェック  
徳之島で初めての道の駅  
世界自然遺産センター見学

1月12日(日)天城支部で昨年12月にオープンした「道の駅とくのしま」へ行きました。全国1213駅目(県内23駅)となる道の駅です。施設は案内所、特産品販売所の他、子育て支援室、レストラン等が整備されており、販売所では地元産の新鮮野菜、果物が並んでいて珍しい柑橘類もありました。併設されている「世界自然遺産セ



センター」も見学し徳之島の森や希少な動植物の立体模型などの展示物を鑑賞しました。昼食をレストランでいただき最後に写真を撮って解散しました。「来てよかった。」「楽しかった。」など感想も聞かれました。

地域支援部 伊 加代子

こともあり、「筑前煮」とお餅たつぷりの「お雑煮」を調理しました。

お雑煮には、大きなお餅が二つも入り、若者にも満足いくポリウムに仕上がりました。筑前煮は具沢山で、全て味が染み込んでおりとて



も美味しく出来上がりました。次回も、お茶菓子だけでなく、好きなものを作って食べて交流していきたいと思えます。

地域支援部

嘉野 善一郎



2024年度 役員・事業所管理者・支部役員 会議  
やれること・見直すことから変わる・変える勇氣

2024年度役員・事業所管理者・支部役員会議が各区会場をWEBで繋いで、83名が参加し開催されました。今回は、全国でも厳しくなっている、医療・介護の経営状況をどう打開していくかを重点議題とし、熱い討論が繰り広げられました。2024年は、診療報酬、介護報酬、障害者福祉サービス等報酬のトリプル改定が行われました。医療では薬価の引下げ等で、実質0.12%のマインス改定となり、介護報酬、障害福祉サービス等は僅かな引き上げがありました。いずれも抜本的な処遇改善には程遠い改定率で、この間の物価高による材料費の高騰、人材不足等で深刻な経営難に陥っています。



奄美医療生協も例外でなく、この煽りを受け、合併後最も困難な状況にあります。会議は、福岡雅彦理事長の開会あいさつで始まり、祐新太郎専務から2024年度の事業経営、全国四課題到達の見直し、経営改善の取り組み、2025年度組織

ました。各事業所管理者からは、老健せとうち、徳之島診療所、住宅介護支援事業、ヘルパーステーションとく

同」で困難を乗り越えていこう。人づくり、組合員活動を含めマネジメントしないと困難は乗り越えられないとしています。

奄美医療生協の組織現勢も、減少傾向で推移しており、活動に参加されている組合員の高齢化は確実に進んでいます。健康で長生きを目指し、健康づくりの視点で見れば喜ばしいことですが、活動を継続する点では大きな課題です。「組合員参加を豊かに広げる」を協同で取り組む必要があります。

かつてない重い議題となった会議では、参加された支部組合員からは組合員目線での、業務改善、組織活動、人材育成の提案等が寄せられました。具体的には、「到達を踏まえたPDCA」、「生きがい語る」、「職員と組合員が一体となった取り組み」、「経験を活かし困難を乗り越えよう」、「利用者が利用者を増やす取り組み」等々、厳しい激励や建設的な意見が出されていました。

私たちは、この会議で得られた貴重な提案、意見を「勇氣と覚悟をもって」日々の活動に活かし困難を乗り越えていきます。



1月28日、中央奄美支部の会計をされていた池畑敬夫氏がお亡くなりになりました。

昨年創立70周年を迎え、お元気ですか特別号として当時の困難と闘ってきた先輩方の懐かしい写真が掲載されました。池畑さんは、法人専務として奄美医療生協の合併事業を先頭に立って牽引され成功に尽力された方です。新しい奄美中央病院の建設にかかわる土地取得も池畑さんの手腕で確保できたと聞いています。忙しい中でも、現場に顔を出し、若手の職員にも声をかけ、よく話を聞いてくれた方でした。誰からも慕われ、頼りになる偉大な先輩でもあり、やさしいおじさんだった池畑さん。ご冥福をお祈りいたします。



# 大島北高等学校で開催！ 「職業人座談会」に参加しました



1月24日（金）、鹿児島県立大島北高等学校（大島北高校）で高校生たちの将来の仕事選びの参考となる「職業人座談会」が開催され、奄美医療生活協から大島北高校の卒業生である奄美中央病院医療事務の別府舞桜さんと作業療法士の有川千夏さん、本部から與美和看介護部長の3名が参加しました。それぞれが担当する職種について、高校生に分かりやすく紹介しました。

ソードを語りました。奄美医療生活協のブースには20名の高校生が訪れ、熱心に話を聞いてくれました。「医療事務ってどんなことをするのか？」「仕事のやりがいはあるのか？」「具体的な質問がありました。」など、「まだどんな職業に就きたいか想像がつかない、分からない」という生徒さんも多くいました。実際の仕事内容や医療現場での経験談を聞くことで、「医療の仕事も選択肢の一つかもしれない」と思うきっかけを作れたと思います。この座談会がきっかけとなり、奄美大島から未来の医療従事者が誕生してくれることを心から期待しています。

看介護部長 與 美和



医療事務の別府さんは、現在担当している訪問診察や予防ワークの事務業務について、作業療法士の有川さんは患者さんと一緒に取り組むリハビリテーションのやりがいについて、看介護部長は看護師の仕事の魅力や現場でのエピソード

## 奄美医療生活協同組合奨学金制度

### 【応募資格】

次の資格を取得するために、大学や短大、専門学校等に通う学生を対象とします。

### 【対象職種】

左記の資格を取得し奄美医療生活協同組合に勤務する意思のある者。

薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、診療放射線技師臨床検査技師、保健師、介護福祉士、社会福祉士、その他  
医師については、鹿児島県民医連のホームページをご参照下さい。

### 【奨学金（貸与）額】

1ヵ月10万円 入学金最高40万円

### 薬剤師以外

1ヵ月5万円 入学金最高20万円

既に学校に通っている学生であっても、1年を上限としてさかのぼって奨学金を支給することができます。

奨学金を受けていた期間によって就労義務年限があります。概ね受給期間に1年を加えた年限が義務年限となります。

### 【返済義務】

義務年限を超えて就労した者については、返済免除となります。義務年限未了の場合は、未了期間に応じた返済義務が生じます。

奨学金制度に関わるご質問や申し込み等は、左記までご連絡ください。

### お問い合わせ

奄美医療生活協同組合 本部  
（担当 吉田よしだ） 與（あたえ）

〒894-0036

奄美市名瀬長浜町8-7

☎ 0997-521-0585

E-mail: honbu@amani-hca.or.jp



# ついに棟上げ 姿を現す 人に寄り添う結いの診療所 徳之島診療所



1月28日撮影

昨年7月に地鎮祭が行われ本格的に建設が進められてきた、新しい「徳之島診療所」、骨格部分が組み上げられてきました。2月に棟上げが行われ、いよいよ全容が見えてきました。見晴らしのいい、丘の上に建つ、アットホームな診療所。そのあたたかい姿が見えてきました。



奄美医療生協の事業の推進には、地域組合員の力は不可欠で、これまでも協同の取り組みとして成功させてきました。地域健康づくりと合わせて、新築移転へご協力を呼びかけています。亀津中区公民館での徳田所長の医療講演（1月25日）



建設地周辺の組合員さんへの一斉訪問行動！協力を呼びかけました。

医療講演の後半は移転工事の進捗状況をスライドで報告

◆転居等で不明となっている組合員名簿を総点検する。みなし脱退、睡眠組合員については、判明すれば仲間増やしにつながります。定款外転居で不明となっている組合員も名義変更等で仲間増やしにつながります。

課題が多くても、みんなで残らず、各自が取り組みを大事にする。残らず、各自が取り組みを大事にする。残らず、各自が取り組みを大事にする。



◆まず支部・事業所での年間目標までの残課題を共有し、達成に向けた行動計画を立てよう。

楽しくなければ、人は集まらない。みんなで取り組めば、楽しいこころが見える。



◆助け合い活動 地域の困ったは協同の取り組みで解決を。地域には、助け合いの活動が広がっています。私たちの目指す、居心地のいいまちを実現するチャンスです。懇談会等でつながりましょう。

◆班づくりでは 睡眠班の復活を取り組みましょう。多世代とのつながりも意識し、組合員、職員の合同班も検討しましょう。

◆担い手増やしは、組合員企画のつながりを活かしましょう。新たな人を班会等へお誘いし、活動を見せる魅力を伝えましょう。

## 2024年度しめくくり月間方針（1次案） 全国四課題年間目標達成を目指そう！

2024年度しめくくり月間方針 針一次案が提起されました。 期間 2025年3月1日～3月31日 目標 全国四課題の法人及び各区年間目標達成を追求します。

# ゆいちゃんがいく No.55 Toshi

**パレスチナ問題を考える②**

**オスロ合意・崩れた平和への希望**  
オスロ合意とは  
パレスチナ暫定自治を認める  
ヨルダン川西岸とガザ地区からイスラエルは段階的に軍を撤退させる

2000年9月にイスラエルの軍人政治家のシヤロン氏（後に首相になる）がイラム教の聖地「岩のドーム」に足を踏み入れてしまい礼拝中のイスラム教徒が激怒暴徒化します。約7年かけて築かれた平和への希望が崩れていきました。イスラエル各地でテロが頻発します。



岩のドーム



**イスラエルの極右傾化とパレスチナの過激化**

衝突が続く中、選挙でシヤロン氏が首相になります。シヤロン氏は西岸の境界に壁を700キロに渡りつくりました。壁によりテロが減ったことで交渉はいらなくなるとの考えが広がります。平和の道は失われていきます。

オスロ合意後パレスチナをまとめてきたアラファト議長が2004年に亡くなります。後を継いだのが穏健派のアッバス議長でしたが2006年の選挙で負けてしまいました。ハマスはイスラム原理主義を訴えガザ地区を中心にパレスチナ開放を目指す組織です。武闘闘争の中、過激派のイメージがありますが慈善活動や教育支援で貧しい人々を支えています。

オスロ合意



**トランプ政権で和平が絶望**

和平交渉を続ける西岸と武闘闘争を続けるガザでパレスチナでの足並みが揃わなくなり、ユダヤ教の聖地をトランプ氏が訪問します。イスラエルが首都と主張しているエルサレムに大使館を移設。パレスチナへの支援打ち切るなど露骨にイスラエル寄りの政策をとります。

アメリカには、50万人のユダヤ系の人が住んでいて政界に影響をもつロビー団体があり民主、共和、選挙資金を提供しています。この背景もありイスラエルには巨額の軍事援助を続けています。

エルサレムは国連の永久信託統治



トランプ氏



**国際社会の限界 国連の機能不全**

国連が懸命に人道支援など努力しても安全保障理事会で常任理事国のアメリカがイスラエルを擁護し決定できません。アラブ諸国の結束も崩れ、イスラエルと国交を結ぶ国もでてきた。憎悪が憎悪を呼び負の連鎖が中東全域に広がってきています。あのベトナム戦争も人々の結束で終わらせる事ができた。目を背けないで声を上げ続けよう。

**ガザの子どもの夢と希望を繋ぐ凧揚げ**

4万人が殺され、5万6千人以上の子供が死んでいます。



参考：NHK クローズアップ現代、学研ネット  
※ 前月号①のつづきです。①を参考にして下さい。  
N054.55は2024年10月頃作成しました。情報は変化します。ご了承ください。

## 読者だより



「葉っぱとした！  
ハートにほっこり」

撮影者：龍雲さん



「我が家の 旧正月御膳」  
撮影者：Y・Fさん



「隠れ家  
ロケットストーブ点火」

撮影者：Toshiさん



「街角で見つけた 愛ちば！」

撮影者：龍雲さん

## 理事会だより

第8回法人理事会が開催され次の事項が議決されました。

- 1、通知事項
  - ①組織・社保活動報告
  - ②2024年11月の経営報告
- 2、報告承認事項
  - ①第47期第7回理事会議事録の承認
  - ②第47期第12回常務理事会報告
  - ③徳之島診療所建設関係の進捗状況
  - ④2024年秋の生協強化月間まとめ（最終案）について
  - ⑤残高証明書発送と対応について
- 3、協議議決事項
  - ①法人内事業所の今後の事業活動の見直しと経営改善について
  - ②2025年度活動方針・事業計画及び予算（1次案）について
  - ③資金状況と当面の資金対策について
  - ④第48期通常総代会について
  - ⑤2025年九州沖縄組合同員交流集会について
  - ⑥2024年度締めくくり月間方針（1次案）について
- 4、その他の事項
  - ①2025年1月～2025年3月日程の確認